

第三セクター—鉄道運行の収支予測について

第三セクター—鉄道運行（長万部～小樽）の収支改善の方策の検討

協議会では、第三セクターの収支改善を図るため、様々な方策の検討を行い、推計の見直しを行った。

番号	検討項目	検討内容	検討結果
1	すれ違いをなくし、信号設備を簡素化できないか【余市～小樽】	信号設備の費用削減を検討したが、ダイヤへの影響がある（現行の1時間に2本の運行ができなくなる）ほか、施設の改修経費がかかるなどの課題がある。	推計では見込まない
2	車両を安価な車両にできないか	大規模な車両検査はJR北海道に委託することを前提としており、JR北海道が検査に対応できる車両でなければ困難。古い車両は、修繕費等が増加するとともに、早い時期の更新が必要となる。	推計では見込まない
3	JRの車両が乗り入れ、車両数を減らせないか【余市～小樽】	JRとの協議が必要。一般的に、朝の時間帯は車両の余裕がなく、札幌近郊は全て電化区間であることから、実現可能性が見込めない。	推計では見込まない
4	予備車両数を最小限に減らせないか	予備車両数を見直すことによって、車両数の削減を検討。	推計を見直した
5	車両検査場はJRの施設を借りられないか	6日ごとに実施する仕業検査も含め、全ての検査をJRに委託することを検討。札幌までの車両の回送がかかること、給油や清掃の設備は必要となるため、費用の削減が見込めない。	推計では見込まない
6	小樽駅の業務を委託して要員数を減らせないか	共同使用駅となる小樽駅の窓口・改札等の業務をJR北海道に委託することを検討。JRへの業務委託料の支払いは必要だが、人件費が削減できる。	推計を見直した
7	橋やトンネルの大規模補修はどの程度必要か	JRからの情報提供を踏まえ、金額を見直し。	推計を見直した
8	除雪費用がかかるのではないか	JRからの情報提供を踏まえ、豪雪地帯であることから金額を見直し。	推計を見直した
9	JRからの資産譲渡額を精査すべきではないか	JRからの情報提供を踏まえ、金額を簿価に見直し。ただし、土地の簿価は取得時の価格によるものであり、現在の価値は大きく上がっているため、実際の譲渡にあたっては、JRとの協議が必要。	推計を見直した
10	観光客の増加を考慮すべきではないか	当初は、人口減少に応じて全ての利用者が減少すると予測していたが、観光客は、地域の人口減少と同様に減少するとは考えにくいことから、推計方法を検討。観光客と推定する利用者（全体の約2割）が新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の2018年度（調査年度）の水準に回復し、将来的に持続すると仮定。	推計を見直した
11	運賃を値上げすべきではないか	大幅な赤字が見込まれることから、経営改善のため、運賃の値上げについて検討。	推計を見直した

長万部～小樽

長万部・小樽間の第三セクター鉄道運行に係る各検討項目について精査を行った結果、初期投資は38.4億円の削減、単年度収支(2030年度)は0.9億円の改善となった。

【初期投資額】

(単位:億円)

	収支 予測	見直し	増減	検討事項
J R 資産譲渡	30.9	24.8	▲ 6.1	項目9
車両	60.8	37.5	▲ 23.3	項目4
その他設備	19.7	19.7		
車両検査施設	4.5	4.5		
信号設備	0	0		
大規模補修	62.0	53.0	▲ 9.0	項目7
開業準備費	13.4	13.4		
合計	191.2	152.8	▲ 38.4	

【単年度収支（2030年度）】

(単位:億円)

	収支 予測	見直し	増減	検討事項	
収入	運輸収入	2.69	4.48	+ 1.79	項目10・11
	運輸雑収入	0.15	0.26	+ 0.11	
	運輸収入計(A)	2.84	4.74	+ 1.90	
支出 (営業 経費)	人件費	13.4	12.8	▲ 0.6	項目4・6
	線路保存費	6.1	6.1		
	電路保存費	2.8	2.8		
	車両保存費	1.1	1.1		
	運転費	1.2	1.2		
	運輸費	0.6	0.7	+ 0.1	項目6
	管理費	1.3	1.3		
	除雪費	0	1.5	+ 1.5	項目8
	土木構造物 維持費用の増加	0.1	0.1		
営業経費(B)	26.6	27.6	+ 1.0		
A - B	▲ 23.7	▲ 22.8	+ 0.9		

余市～小樽

余市・小樽間の第三セクター鉄道運行に係る各検討項目について精査を行った結果、初期投資は7.7億円の削減、単年度収支(2030年度)は1.4億円の改善となった。

【初期投資額】

(単位:億円)

	収支 予測	見直し	増減	検討事項
J R 資産譲渡	7.5	4.8	▲ 2.7	項目9
車両	18.8	14.1	▲ 4.7	項目4
その他設備	3.4	3.4		
車両検査施設	4.5	4.5		
信号設備	4.0	4.0		
大規模補修	8.8	8.5	▲ 0.3	項目7
開業準備費	6.1	6.1		
合計	53.0	45.4	▲ 7.6	

【単年度収支（2030年度）】

(単位:億円)

		収支 予測	見直し	増減	検討事項
収入	運輸収入	1.43	2.21	+ 0.78	項目10・11
	運輸雑収入	0.09	0.13	+ 0.04	
	運輸収入計(A)	1.52	2.34	+ 0.82	
支出 (営業 経 費)	人件費	5.1	4.2	▲ 0.9	項目4・6
	線路保存費	0.9	0.9		
	電路保存費	0.4	0.4		
	車両保存費	0.3	0.3		
	運転費	0.3	0.3		
	運輸費	0.3	0.4	+ 0.1	項目6
	管理費	0.5	0.5		
	除雪費	0	0.2	+ 0.2	項目8
	土木構造物 維持費用の増加	0.01	0.01		
営業経費(B)	7.8	7.2	▲ 0.6		
A - B		▲ 6.3	▲ 4.9	+ 1.4	